

## 2013年度委員会抱負並びに事業活動計画(案)

委員会	総務広報委員会
担当専務理事	田中 尚仁
委員長	藤本 俊也
副委員長	南出 誠
委員会開催日	7日・27日
LOMスローガン	愛する地域の未来のために共に挑もう 新しい価値観へ
委員会スローガン	新価のJ C 発信から信頼へ
委員会抱負	
<p>昨年、我々は念願の公益社団法人へと生まれ変わり、公益性の高い事業の追求と、透明性の高い組織運営を行うことが重要となります。さらには近年の会員数の減少に応じて運営方法についても見直し、組織としての「質の向上」を図ることが必要であります。また、我々の運動や活動の見せ方についても調査研究すると共に、今まで構築してきた繋がりを活かしつつ積極的な広報活動を行い、より多くの市民に発信する必要があります。</p> <p>そこで、本年度総務広報委員会では、組織の「要となる委員会」として、委員会メンバー一人ひとりが責任と自覚を持ち、積極的に青年会議所活動に取り組みます。また、事務局並びに財政局との連携を図り、厳格な財政規則審査会議を行うことで、各種事業がより公益性の高いものとなるように事業計画段階から各委員会へのサポートを行います。規律に則りながらも、慣習に囚われることなく、新しい価値観を持って運営方法を見直すことで、組織の根幹である委員会活動がより効率的で活発になるよう取り組んでまいります。また、広報としては、今までの広報活動についても広い視野を持って再検証し、適正でより有効な広報手段を活用致します。紙媒体である市民向け広報誌とホームページでの受発信を行うと同時に、市行政や各種団体との連携、また各種マスメディアを活用し、情報発信の場を市内のみに留めることなく、広域的に発信するために戦略的且つ多角的な情報の受発信に取り組み、幅広い市民に向けて我々の活動を強く訴えてまいります。広報活動を担う委員会として、主体性を持って取材活動を行うことで、LOM内の情報共有に努めます。</p> <p>「要となる委員会」として各委員会へのサポートを行い、より透明性の高い組織運営に努めると共に、積極的に地道な広報活動により得た様々な情報の共有と、青年会議所活動をこれまで以上に広く発信し、我々の魅力を地域に伝播してまいります。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通常総会の開催（1月・9月・12月）</li> <li>2. 会員必携の発行（1月）</li> <li>3. 「郷土」作成発行（1月）</li> <li>4. 「青樹」作成発行（毎月例会時）</li> <li>5. ホームページ作成・運用（通年）</li> <li>6. グループウェアの運営（通年）</li> <li>7. 3月例会ホスト企画設営（3月公式訪問）</li> <li>8. 各種事業の取材並びに記録写真の整理・保存</li> <li>9. 各種マスメディアとの連携</li> <li>10. 事務局及び財政局との連携並びに財政規則審査会議運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書、事業報告書等の管理</li> <li>・収支予算書、総会資料の作成</li> <li>・理事会の開催</li> <li>・会費の徴収</li> <li>・事業出席名簿の作成並びに管理</li> <li>・会員状況の把握</li> <li>・県担当課への諸報告の提出</li> <li>・法務局への登記</li> <li>・資産並びに備品全般の管理</li> </ul> </li> <li>11. 京都会議登録設営</li> <li>12. 近畿地区大会登録設営</li> </ol>	

